

甲佐町ため池 ハザードマップ

【世持上・下ため池】



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2Jshs1011」
作成/令和3年3月 甲佐町農政課

ため池浸水想定区域について

ため池の浸水想定区域は、現在の河道の整備状況を勘案して、ため池の堤が決壊した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

なお、災害の状況によっては、この浸水想定区域に指定されていない範囲においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

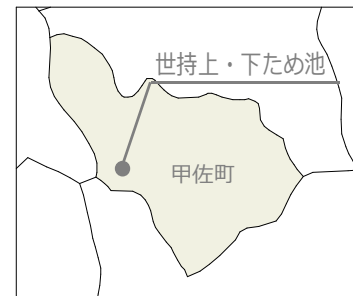
【前提となる状況】

晴天時の地震により、最大貯水量が瞬時に流出する。

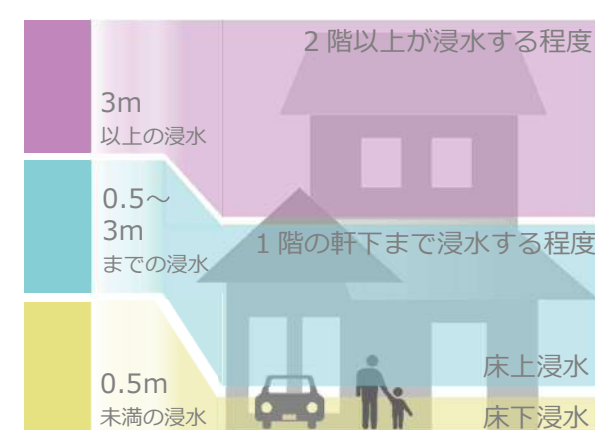
※台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。
土砂災害の被害が想定される範囲については、「**甲佐町総合防災マップ**」を参照してください。

ため池諸元

世持上ため池・世持下ため池
総貯水量： 25,000m³・38,000m³
堤 頂 長： 100m ・ 40m
堤 高： 6.0m ・ 5.0m

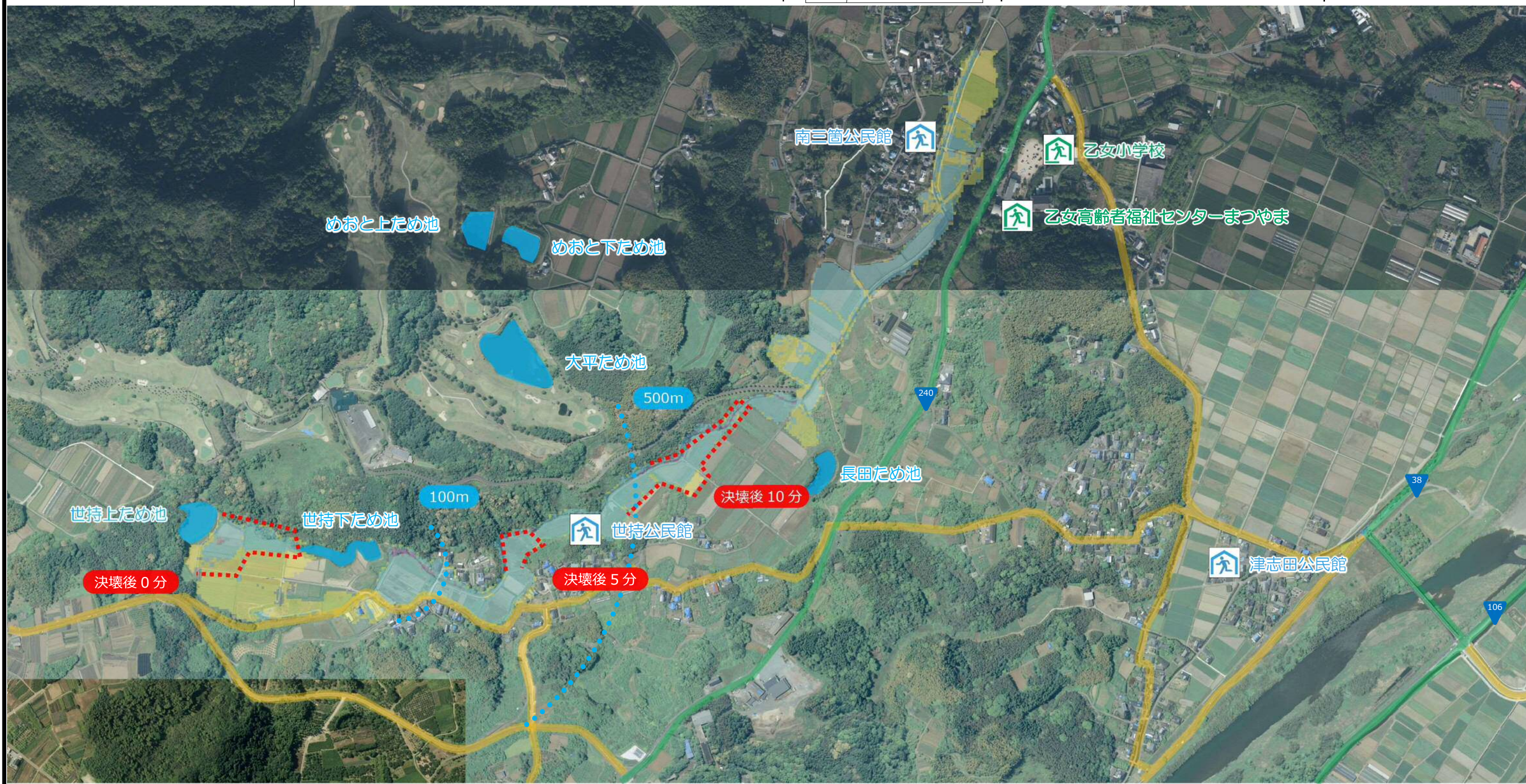


浸水の深さ



凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 指定避難所兼緊急避難場所
- 福祉避難所
- 自主避難所



避難場所・避難所一覧

指定緊急避難場所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
1	甲佐地区防災公園	豊内776番地	6	B-5
2	上益城農業協同組合本所	白旗543-1	1	D-4

指定避難所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
1	甲佐団地集会所	豊内776番地	6	B-5

指定避難所兼指定緊急避難場所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
1	宮内地区社会教育センター	小鹿358	6	F-5
2	甲佐町総合保健福祉センター「鮎緑」	豊内619	6	A-5
3	甲佐小学校	豊内613-1	8	B-1
4	甲佐町農業研修センター「ろくじ館」	豊内719-2	6	B-5
5	甲佐中学校	中横田300	6	B-2
6	龍野小学校	上早川11220	6	B-1
7	龍野福祉ふれあいセンター	上早川334	3	C-5
8	甲佐町町民センター	糸田9-1	3	A-5
9	白旗小学校	白旗50	1	E-5
10	白旗福祉ふれあいセンター	白旗216-2	1	E-5
11	乙女小学校	津志田3073	2	D-2
12	乙女高齢者福祉センターまつやま	津志田3073	2	D-2

福祉避難所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
1	特別養護老人ホーム桜の丘	西寒野1161	8	B-2

公民館等自主避難所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
1	広瀬公民館	坂谷27-1	7	A-3
2	谷内公民館	坂谷3225	7	A-1
3	本坂谷公民館	坂谷2538	4	B-4
4	西原集会所	西原215他	7	A-4
5	小鹿集会所	小鹿224	6	F-5
6	安平集会所	安平773	8	E-1
7	上揚公民館	上揚671	8	D-1
8	東寒野公民館	東寒野644-1	8	C-2
9	西寒野公民館	西寒野247-5他	8	B-2
10	上豊内公民館	豊内188-4	8	B-1
11	下豊内公民館	豊内1019-1	6	B-5
12	岩下二区集会所	岩下82-6	6	A-5
13	緑町公民館	豊内571-11	8	A-1
14	仁田子公民館	仁田子506-2	6	A-5
15	大町公民館	大町610	6	A-4

公民館等自主避難所				
No.	名称	住所	エリアマップ	地図索引
16	横田公民館	横田497-1	6	B-4
17	有安公民館	有安279-1	6	A-3
18	吉野集会所	仁田子889	6	A-5
19	中横田集会所	中横田963-1	6	C-2
20	立神集会所	中横田212他	6	B-3
21	中尾公民館	中横田1849	6	D-1
22	宮ノ尾公民館	中横田2043-2	6	D-1
23	庄分集会所	中横田292-1	6	B-2
24	内田集会所	中横田915	6	C-2
25	日野薬師堂	中横田1442	6	D-1
26	九折集会所	下横田1303	6	B-2
27	下横田公民館	下横田12-1	6	B-2
28	浅井公民館	下横田1615-1	6	B-1
29	上早川一區公民館	上早川2783	3	C-5
30	大峯公民館	上早川1727	3	B-4
31	幸野公民館	上早川1055	6	B-1
32	上知行公民館	上早川688	6	C-1
33	下知行公民館	上早川435-4	6	C-1
34	知行原公民館	上早川255-1地先	3	C-5
35	大原公民館	上早川86	3	C-5
36	六谷公民館	上早川4496	4	A-3
37	船津公民館	船津763-2	5	F-1
38	麻生原公民館	麻生原679	2	F-3
39	世持公民館	世持315	2	E-4
40	南三箇公民館	南三箇471-1	2	D-2
41	中山公民館	中山167-2	2	C-2
42	津志田公民館	津志田1290-1	2	E-2
43	上田口公民館	田口204-1	1	D-5
44	下田口公民館	田口1170	1	C-5
45	田原公民館	田口4319	1	B-5
46	和田内公民館	田口2745	1	C-4
47	府領公民館	府領636-4	1	B-4
48	中早川集会所	糸田95	3	B-5
49	早川公民館	早川780	3	A-4
50	北早川公民館	早川2001他	1	F-5
51	糸田公民館	糸田1454	2	F-2
52	辺場公民館	白旗421	1	D-4
53	古閑公民館	白旗2224	1	D-4
54	八丁公民館	白旗2154	1	D-4
55	山出農業構造改善センター	白旗597-1	1	D-4
56	芝原公民館	芝原997-1他	1	D-2
57	吉田公民館	吉田124-1	1	B-2

状況に応じた避難

3m以上の浸水

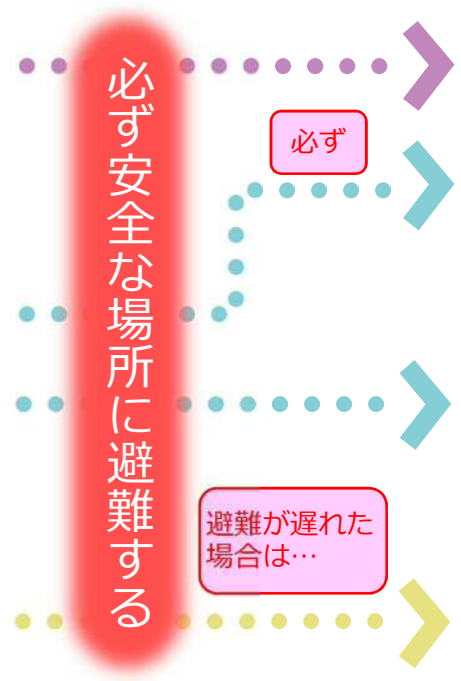
- 2 階以上が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5～3m未満の浸水

- 1 階が浸水
- 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のヒザ程度
- 浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険



浸水しない場所

- 安全な場所へ移動する
- 水平避難

2 階以上の建物

- 自宅近くの丈夫な建物の 2 階以上にとどまる
- 垂直避難

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待機

避難の心得

●避難時は、みんなで協力し、落ち着いて安全に

災害時の避難は、ふだん通っている道でも慎重に歩きましょう。
冠水した道路は足元が見えないため危険です。早めに避難所など安全な場所への避難を心がけましょう。

●歩ける水深は成人男性 70cm・成人女性 50cm

冠水した道で歩ける道の深さは、男性で 70cm・女性で 50cm までです。水深が腰までであるようなら高いところで救助を待ちましょう。

●避難所へいけない場合

2 階や、山・川と反対側の部屋に移動するなど、いま自分がいる場所から安全な場所に移動しましょう。

●事前の準備が大事

避難するときの荷物は最小限とし、事前に準備しておきましょう。避難所までの経路は、自分たちで決めておき、安全に通行できるかあらかじめ確認しておきましょう。

●情報・呼びかけに注意を

テレビ・ラジオによる最新の気象情報、災害情報に注意し、町や消防団から避難の呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。

●協力しあって避難しよう

お年寄りや子ども、病気の方、体が不自由な方は、早めの避難が必要です。近所の方は、避難に支援が必要な方に協力しましょう。

●避難勧告等の区分について

避難情報等の種類	発令時の状況	避難情報等の種類
警戒レベル 5 災害発生情報	・すでに災害が発生し、人的・物的被害が発生している状況。	・命を守るための最善の行動をとる。
警戒レベル 4 避難指示（緊急）	・前兆現象の発生や、切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ・人的被害の発生した状況。	・避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了する。 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、その時間がないときは、生命を守る最低限の行動をとる。
警戒レベル 4 避難勧告	・通常の避難行動をできる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	・通常の避難行動ができる方は、避難所等への避難行動を開始する。
警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始	・要配慮者、特に避難行動に時間を要する方が避難しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。	・要配慮者、特に避難行動に時間を要する方は、計画された避難所へ避難を開始する。 ・上記以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始する。

ため池決壊について

ため池決壊の原因	ため池決壊の一例
大雨 ため池の水位が上昇し、堤体を越流したり、堤体が不安定な状態になり、ため池が決壊する危険性が高まる。	 平成 29 年 7 月の九州北部豪雨により、福岡県朝倉市の「山の神ため池」、「鎌塚ため池」が決壊し、3 名の人的被害が発生した。
地震 ため池の堤体が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性が高まる。	 平成 23 年 3 月の東日本大震災により、福島県須賀川市の「藤沼ため湖」が決壊し、8 名の人的被害が発生した。